

## 鴨居地区福祉まつり 特集 平成30年11月3日(土)開催

「鴨居福祉まつり」に参加して

緑福祉保健センター長 室谷 洋一

11月3日、この日は例年通り曇一つない晴れの下、「鴨居福祉まつり」に行ってきました。受付でもらったしおりの表紙に、「鴨居はあったかいね!」とありました。それは、私がここに来ていつも感じることです。様々な分野で活動が盛んで、ボランティアの方々も一生懸命。ふるさとを愛する住民の皆さまの熱い思いとともに、地域のきずながしっかり結ばれているのだと思います。

人にやさしく住みやすいまちづくりを目指して開催されてきた「鴨居福祉まつり」も18回目を迎え、今年のテーマは「楽しもう!つなごう



う!顔の見える関係」です。私も、オープニングの鴨居小学校児童の演技から始まって、校庭では、盲導犬体験や、ホットドッグ、豚汁などの模擬店。体育館では、ケアプラザの展示、福祉用具の体験や健康チェック、クッキーやお団子の販売など、いろいろなものを見させていただきました。そして、どこでも参加団体と地域の皆さまの笑顔があふれていて、たくさんおしゃべりさせていただきました。最後に、川柳の応募作品の掲示を拝見しましたが、思わず膝を叩きたくなるような佳作ぞろいでした。



「鴨居福祉まつり」は、文字通り、子どもからお年寄りまで誰もが参加できる楽しいふれあいの場でした。とても楽しいひとときを、ありがとうございました。

福祉まつりに参加して

鴨居消防班 班長 織裳秀次

今年も消防班は鴨居福祉まつりに参加させて頂きました。

いつも校庭の中央で退屈そうにしていますが、開場前は会場設営・消防自動車での広報・駐車場の誘導と、けっこう忙しく動きまわっております。開場後は消防自動車の展示・乗車体験ということですが、いつものようにチビ子が並ぶことはなく、もっぱら他の団体の活動や催しを楽しませて頂いております。



当初自分は、福祉という高齢者・身障者への社会貢献的な固い言葉に、祭りとは何ぞやと思

っていましたが、参加団体と地域の方々が楽しそうに活気あふれる状況をみていると、「皆が幸せに暮らせる社会」福祉の祭りだなと思うようになりました。

今回のテーマは「楽しもう!つなごう!顔の見える関係」。福祉を通し地域の交流を深めるこの祭りは、今後とも盛大にとり行われることを望んでおります。

### 福祉川柳コンテスト

#### 〜入選作品紹介〜

第一位 渡邊 勇

認知症 スマホだけは お手のもの

第二位 柳下 孝子

「何食べたい」「何でも良い」のくり返し

第三位 米良 重人

認知症 あなたはあなたの まんまです

第三位 小宮山 政行

同期会 老いたる今は 動悸かい



まつり風景  
あれこれ



## 鴨居福祉まつりに参加して

保護司会 柳下 さつき

例に漏れず、今年の文化の日も好天。鴨居福祉まつりも賑々しく執り行われました。保護司のブースは、暑かろうが寒かろうが天候に関係なく、毎年校庭の鉄棒前と決まっています。覚醒剤乱用防止の展示パネルには、我が国の将来を担う小学生たちが意外に興味を示してくれたのにこれ幸いとクスリの恐ろしさを説明。険しい表情で絶対にやらない！と満点解答をしてくれました(笑)。その他、社会を明るくする運動の一環として、ティッシュやパンフレットの配布をし、来場された多くの方々と触れ合うことができました。

11月3日は中山まつりや長津田まつりがあり、保護司会メンバーが分散されてしまうので鴨居は2名での参加。その為、自分たちのブース以外をじっくり見る事ができないのが目下の悩みです。来年こそは時間を作って皆様の力作も楽しみたいと思います。

最後になりましたが、開催にあたられた実行委員の皆様、各種団体の皆様、大変お疲れ様でした。

## 第17回鴨居福祉まつりに参加して

鴨居地域ケアプラザ 所長 長谷川 政樹

鴨居地域ケアプラザに来て1ヵ月が経ちました。私にとっては初めての鴨居福祉まつり。鴨居小学校の生徒さんによるソーラン節が披露され、拍手喝さいの中スタートしました。フリーマーケットや飲食をはじめ、各団体の皆さんが思考を凝らしたブースの数々も印象的でした。私たちは、福祉用具の体験・心理チェック・地域交流くんの愛称募集で参加させて頂きました。最後には、川柳発表！鴨居地域ケアプラザの米良さんが3位入賞！自分事のようにうれしかった半面、負けず嫌いの私は・・・「来年は自分が1位をとるぞ！」と、ひそかに心に決めた一日となりました。(来年も川柳やってくださいね・・・)



今回の福祉まつりもそうですが、鴨居の会議や行事に参加する度に感じることは、地域の皆さんの温かさ、鴨居をみんなで盛り上げていこう！つながりを大事にしていこう！という力強さです。鴨居地区の福祉の拠点として、また、鴨居地区の一員として、職員一同、今後も様々な機会の皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

福祉まつり開催にあたり、以下のご寄付をいただきました。毎年ありがとうございます。

- |             |   |         |
|-------------|---|---------|
| ・衣類リユース     | ： | ¥2,000- |
| ・メゾンヴェルト    | ： | ¥3,850- |
| ・ふうせんのトラちゃん | ： | ¥2,951- |

## 福祉まつりに参加して

鴨居小学校 6年2組 大塚 心維

私は福祉まつりに参加して、オープニングセレモニーで「ソーラン節」と「レッツ・ダンス・ウィズ・ヨコハマ」を踊りました。

最初は、いろいろな地域の人や保護者、区役所の人が見ていてきんちょうしたけれど、踊るのはこれがラストだと思い、精いっぱい踊りました。

福祉まつりに参加して、思ったことがありました。一つ目は、地域の人たちの対応がありがたいなあと思いました。踊った後、地域の皆さんが拍手をしてくれて、とてもうれしかったです。



二つ目は、最後の福祉まつりなので、たくさん楽しもうと思ったことです。踊るときはぜんぜん声が出せなかったけれど、心の中はとても楽しかったです。地域の方々、保護者の皆さん、ありがとうございました。

## 福祉まつりを終えて

鴨居地区社会福祉協議会

書記 西井 保江

天候にも恵まれ、第18回鴨居福祉まつりが皆様のご協力により無事終了できましたことを感謝しております。

今年度は、校庭と体育館が一体となるよう音響設備を一新したり、先着300名のプレゼントがどのブースでも使用可能な100円の金券に変更になったり、また、衣類のリユースでは当日の回収を試みたり、実行委員会では皆さんが楽しんで頂けるように、毎回工夫を凝らしています。

当日、バタバタしている合間に各団体のブースを見て回り、カゴや炊き込みご飯を購入。他にも買いたい物、食べたい物、体験したいコーナーがいっぱい。ダイナミックな児童の演技や、わかりやすい展示、心のこもった手作りの作品や食品が所狭しと並んでいます。売り子さんとの会話や作り手の方を想像するのが楽しみのひとつです。ゆっくり見て回りたいというのが私の本音です。朝早くから準備をされ、創意工夫されている各団体の方、全力投球で盛り上げておられる姿は、鴨居の力強さを感じます。今年来れなかった方、来年はどうぞお越しください。

<編集後記> 30周年を迎えた鴨居地区社協、今年の福祉まつりも、大勢の方にお越しいただき、にぎやかで充実した1日となりました。鴨居連合自治会と共同購入させていただいた音響設備、いかがでしたでしょうか？今後、各種行事で活用できればと思っています。